



消防団広報誌
平成28年2月

第3号

上山市消防団
活性化推進委員会
発行

まもる



新年祝賀放水 (眉川橋上)

災いやけがれを流し清め、家内安全、無病息災を祈り、新春を祝って放水しました



分列行進



広報活動

平成28年 上山市消防出初式

平成28年 上山市消防出初式が1月10日(日)に、二日町カミン前を会場に盛大に行われました。
今年は、暖冬の影響で積雪がなく、例年にない式典となりました。

新年祝賀放水は眉川橋上から盛大な放水となり、市民から歓声が上がりました。

分列行進では子供たちからの声援が集まり、また広報活動でも多くの市民との触れ合うことができ、好評で幕を閉じました。

平成27年度 秋季消防演習

団員が地区住民を避難所まで誘導しました



大地震発生時を想定した避難訓練

団員がやさしく消火器の使い方を教えました



消火器を使用した初期消火訓練

今年度も各分団にて秋季消防演習を実施しました。全国的に災害が多発している今日、各地域において迅速な対応ができるよう、情報伝達訓練や避難訓練、初期消火訓練など地域自主防災会と連携した訓練内容を取り入れた分団が数多くありました。

今後も消防団は地域の安全安心を守るため、地区民との連携を図り防災体制の強化に努めていきます。

消防団車両・ポンプが新しくなりました



資機材の説明



配備式セレモニー



最新の機能が備わった消防車

地域防災力の
向上のため、
古くなった
資機材を更新し、
最新鋭の
機器を配備！

平成27年11月4日、消防団装備の配備式が消防庁舎で開かれ、対象地区に配備されました。

老朽化した装備の更新で、最新の車両・ポンプ等を導入し、LED・オイルレス真空ポンプ等の搭載により防災活動向上のみならず、環境にも配慮しました。

配備先の団員はさっそく訓練を行い、災害に備えています。

配備先 小型動力ポンプ付積載車：藤吾
小型動力ポンプ軽積載車：仙石

小型動力ポンプ付軽積載車：元屋敷
小型動力ポンプ3台：弁天、細谷、柏木
(弁天は団再編のため金谷へ配置替え)

女性消防団の先進地視察研修



研修の様子

【研修に参加した女性消防団員 横澤 明子さんから一言】

生き生きと活躍する女性消防団の活
力の源は【溢れる郷土愛】、【男性顔負
けの強い使命感】であると感じました。

本市では女性の消防団への入団促進策や活動の活性化対
策に目覚ましい先進地への視察研修を行いました。

この視察研修において、女性にしかできない活動の重要
性を感じました。今まで以上に女性消防団員確保に努めて
いきたいと考えています。

【視察研修先】……………

平成27年10月19日(月)

山形県新庄市(平成27年女性分団結成 33名)

同 村山市(平成10年から女性入団開始 37名)

平成27年11月4日(水)

福井県大野市(平成20年団本部に女性部結成 100名)

平成27年11月5日(木)

福井県永平寺町

(平成20年から医学部大学生が機能別団員として入団 38名)

石川県小松市(平成7年女性分団結成 16名)

地域の行事に貢献する消防団員

“第37回ふるさと秋祭り 「踊り山車」”

9月20日(日)に恒例の踊り山車引きが行われました。

今年も2台の山車が市内を練り歩き踊りを披露、多
数の消防団員が引き手として参加しました。

連休ということもあり県外からの宿泊客も多く、温
泉街ではたくさんの声援をいただきました。



葉山温泉入口の坂道で力を合わせ引いた



防火衣を着用して放水体験



消防団では災害活動の
ほかにも地区に密着した
活動をしています。
今回は、第7分団(宮生地区)での
活動をご紹介します。

宮生地区では10月25日(日)に、消防団と宮生地区子供育成会
との合同のイベントが行われました。

このイベントは「普段は見ることのできない消防団の活動を子供達
にも体験してもらいたい」という思いから初めて企画されたものです。

訓練用水消火器を使用した初期消火訓練や防火衣を着用しての放水
体験、そして団員による操法披露など、たくさんの子供達から喜んで
もらうことができました。

今後も地区との交流を深め、地域一体となって消防団活動に努めて
いきます。

新入団員紹介

前回に引き続き、今年度入団された方々を紹介します。



消防団の一員としてこれから色々な事を学び、自分自身を高めていきたいと思っています。

まずは自分の住んでいる地域のために微力ながら精一杯努めます。

小林 誠人さん
(牧野)

佐藤 和彦さん
(原口)



消防団活動に積極的に参加して、いろいろな経験をし、早く先輩方のようにになりたいと思います。

また、消防団員は地域にとってはなくてはならない存在という事を意識して頑張っていきたいと思っています。



消防団員として多くの活動に参加して行く中で、様々なことを学び、地域の防火・防災に努めていきます。先輩方には迷惑をかけないように自分ができるべきことをしっかり行い、頼りになるような団員を目指します。

栗野 翔太さん
(菖蒲)

事業所からの声

消防団サポート事業所から激励が届いております。その声を登録順に紹介します。



③蔵王猿倉レストハウスさん
団員のみなさんのお役にたてればいつも思っています。
ご活躍期待しています。



②弁天寿司さん(十日町)
日頃の活動ご苦勞様です。
微力ながら皆さんを応援しています。
頑張れ消防団！



①ミスタータイヤマン上山さん
消防団活動も車も足元が大事です。
けがをしないように活動してください。

編集後記

消防団サポート事業所様からの「激励メッセージ」ありがとうございました。

出初式では、天候に恵まれ「カセ坊」君にも参加していただき良いスタートができたと思います。今年も、最新の資機材を活用し、訓練を重ね「予防消防」に努めていきます。

現在、消防団では来年度に向けて、各地区の消防団員が新入団員加入の願いをしておりまゝす。入団して頂くために消防団として一層の努力と家族、事業所様からのご理解が必要であると感じております。私事となりますが、息子も今春から新社会人になり、入団を決めています。二世代で消防団活動を行うことは決して珍しいことではありません。地元での消防活動を通じて、先輩・後輩、地域の方々と交流ができる組織であると思っています。

また、本市では女性層の消防団活動への参加を促進するため、女性消防団員の方から先進地視察研修に行ってもらうなど、活動しやすい環境を整えているところです。ご理解とご協力及び男女問わず消防団への入団をお願いいたします。

今年も火災が少ない年でありますように！

火の用心「カン、カン」

副編集委員長 土屋 博幸